

学校目標・経営方針		健康で、明るく、思いやりのある心の温かい生徒を育成する	
本年度の重点目標	1 授業を工夫し、基礎的な学力を確実に身につけさせるとともに、学ぶ意欲を育成する。	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。		B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 多種多様な体験学習を展開して、生徒に自信をつけさせるとともにコミュニケーション能力を育成する。		C 不十分である。(4割以上)
	4 保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。		D 達成できなかった。(4割以下)

山梨県立巨摩高等学校校長 渡邊圭一郎

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自 己 評 価					
本年度の重点目標				年度末評価(1月25日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度 成果と次年度への課題・改善策
1	授業を工夫し、基礎的な学力を確実に身につけさせるとともに、学ぶ意欲を育成する。	授業の目標を明確にし、ICT機器を効果的に取り入れてわかりやすい授業に取り組み、言語活動の充実を図る。	授業アンケートの実施	B	・授業のわかりやすさの評価が大きく下がってしまった。生徒の活動時間の確保、学び合い、より効率的なICTの利活用など工夫を図りながら、更なる授業改善に努めていく。 ・資格取得に向けた取り組みとして、全校生徒を対象に心肺蘇生法講習を来月実施し、普通救命講習修了証が発行される予定である。
		生活体験文や生徒会誌「青雲」の作成に全校体制で取り組み、生徒の国語力を向上させる。	校内生活体験文発表会、生徒会誌「青雲」		
		資格取得に向けた取り組みを行う。	資格の取得状況		
2	キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。	進路希望に沿った外部機関を訪問する機会を設け、進路意識の向上を図る。	生徒アンケート	B	・卒業生対象のヤングハローワーク見学と産業事情説明会は、意識の高揚にたいへん役立ち有意義だった。 ・全校で食品製造会社の生産ラインを見学し、職業観・勤労観を養うとともにその後の進路決定の一助となった。 ・校内での面接指導に加えヤングハローワーク職員にも指導してもらい、緊張感を持って臨めた。教員の負担も軽減した。
		進路ガイダンスや進路講話、学校見学等を実施する。	生徒アンケートまたは感想文		
		教員による個別の指導体制を確立するとともに、面接指導にはハローワーク等の外部人材を活用することで、教員の負担軽減・多忙化改善を図る。	就職・推薦入試実績		
3	多種多様な体験学習を展開して生徒に自信をつけさせるとともに、豊かな心とコミュニケーション能力を育成する。	総体・教育祭等の校外行事、生徒会行事、社会体験などを通じて、豊かな人間性、社会性の醸成に努める。	生徒アンケートまたは感想文	B	・学校行事や生徒会行事等、様々な経験を通して自主性や協調性を育成できた。成功体験を重ね、自己肯定感を高める取り組みを推進していく。 ・伝統工芸品作りは、講師と交流したり地域伝統文化に触れたりする貴重な機会となった。講師の高齢化や健康面も考慮し、内容や実施方法を検討していく必要がある。
		地域の芸術・伝統文化に親しむ機会を設ける。	生徒アンケートまたは感想文		
		行事内容を生徒の実態に合うよう検討・精選し、適切な活動を実施していく。	生徒アンケート		
4	保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。	進路・保健・生徒指導等の各種講話や授業参観など保護者の学校参加の機会を設け、学校理解に生かしていく。	保護者アンケートの実施	B	・1年次生の切り子作品は10月の六角堂祭典で展示し、活動状況を地域へ発信するとともに、祭典にも参加し地域の方々との交流を図ることができた。 ・毎月末に両面刷りの学校通信を発行し、生徒の活動状況や学校の様子を詳しく紹介した。学校通信や行事予定をホームページにアップしたが、生徒・保護者ともに閲覧する機会が少なかった。
		生徒の活動や作品を地域へ周知する取り組みを充実させる。	保護者アンケートの実施		
		ホームページ及び学校通信を充実させ、内容の濃い、より良い情報を発信する。	通信の発行やホームページの更新		
5					
6					
7					

学校関係者評価	
実施日 (令和6年2月21日)	
評価	意見・要望等
3	・基礎学力、学習意欲向上のため、より分かりやすい授業の実現に工夫していただきたい。 ・資格取得に向けた取り組みは、生徒に具体的な目標意識を持たせるのに有効であり、今後も継続してほしい。 ・国語力の向上は、今後の社会生活において大切な自己表現力に繋がるので、継続して取り組んでほしい。 ・アンケート結果から概ねできていると感じるので、引き続きの取り組みをお願いしたい。 ・先生方の授業が視聴覚機器やプリント等を使って工夫されていることが、生徒のアンケートから読み取れる。
	・進路指導は様々な具体的な取り組みがあり、きめ細かく行われていることがうかがえる。 ・生徒が相談しやすい雰囲気醸成、生徒との信頼関係の構築により、より効果的な生徒個々の状況に応じた進路指導に繋げてほしい。 ・非常に大切な取り組みであると思うので、積極的に生徒に寄り添っていただきたい。 ・外部の人と話す、指導を受ける等、ハローワークと連携していくことは良い。
	・多種多様な体験学習の機会を提供しようとしている学校側の努力がうかがえる。 ・体験学習において成功体験、充実感を持つことは、自己肯定感を高め、成長にも繋がるので、今後も充実した体験学習の機会を提供してほしい。 ・学校行事は卒業後においても非常に有益であると思うので、引き続きの取り組みをお願いしたい。 ・アンケート回答の平準化がみられ、自己肯定感を感じられない点が気がかりである。
3	・「巨摩定通信」やホームページ等で学校行事や活動の様子等の情報発信を積極的に行っていることがうかがえるが、アンケート結果から、保護者に十分伝わっているか懸念がある。各種講話、授業参観等を通じ、保護者とのコミュニケーションの向上を図ってほしい。 ・生徒数が少ない中、情報発信が難しいかもしれないが、創意工夫し理解を深めていただける取り組みをお願いしたい。 ・ホームページの閲覧頻度が少ない。生徒に一端を担ってもらうことで自発的に見るのではないかな。そのことも一つの体験になる。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。